

# なかしゅんべつ

2010

3

No.386



## INDEX

農水省生産局畜産部へ要請…2	女性部のページ…………… 8~10
青年部農水省生産局畜産部と勉強会 3	営農対策情報…………… 11
豊原へき地保育園雪上運動会 5	JA根室地区温泉湯治…………… 12
みらい塾沖縄視察研修……………7	安全運転講習…………… 14

豊原へき地保育園の雪上運動会が父兄とともに開催され、子供達の歓声が地域を温かく、元気にしてくれました。

# 農水省生産局畜産部との 平成22年度価格関連対策に係る 意見交換並びに国会議員への要請



中春別酪農対策協議会(会長・望月英彦)による農政運動を去る2月4日・5日に実施いたしました。

政権交代後、初の新年度予算編成に向け、昨年の12月に閣議決定されている農業予算概算決定概要をもとに、内容の確認を行いながら次期対策への提言や要望を示してまいりました。

これまでの要請プロセスや手法について様変わりしていることや、政策決定までの行程など、一新されている戸惑いもありましたが、限られた時間の中で精力的に実施いたしました。

特に、関連対策面では平成21年度で終期を迎える政策全般について、重点的に継続強化の必要性を要請し、中でも、北海道は全体としての平成22年度生産推進方針が出されており、内容は生産基盤の維持に極力配慮しながらチーズ向け販売数量の拡大や輸入調製品対策等による販売体制の確立を目指した取組みを進めつつ、基本的に前年度を下回らない生産目標とする対応であることを踏まえ、チーズ液状乳製品等向けの供給拡大支援対策は絶対的に制度と予算確保しなければなら

いことを強く要請いたしました。

また、我々の乳価は用途別販売により構成されており、昨今の世界的な情勢(乳製品価格・穀物相場・原油価格・肥料原料相場など)が短期的に変動し、結果として所得の増減が激しい状



況にある。については、中長期的な視点に立った所得確保に対するセーフティーネット対策が絶対的に必要であること、加えて所得以外にも生産安定供給面から需給調整に対する制度設計は急務であることを要請いたしました。

した。

農水省では、酪農主産地における当地区の実態と現状を熱心に聞きながら、意見交換の対応を頂き、活発な内容となりました。

2日間、議員会館へ出向き、与野党の各国会議員へ要請し、各項目を整理した要請書(政策提案書)を提出し、



現状と優先課題についてお願いして参りました。

(要請者)

- 会長 望月 英彦
- 副会長 齋藤 洋
- 副会長 小原 義男
- J A 中春別
- 副組合長 小湊 保
- 事務局 登 計5人

2月12日中春別青年部（部長石森裕治）では部員8人の参加により、農水省生産局畜産部と平成22年度酪農畜産予算概算決定で特徴的なことや、廃止や新設・組み替えなど説明をいただき勉強会を実施しました。



## 農水省生産局畜産部と勉強会を実施

JA中春別青年部

農協青年部では2年に1回のペースでの勉強会を行っており、今回初めて参加する方もいましたので、事前に勉強会を2回行い全員が質問できるような体制で行われました。

開催にあたり石森青年部



部長より、「現在の酪農情勢は非常に早いスピードの変化に大変驚きを感じています。昨年政権が変わり、事業仕訳で農業予算の大幅な後退、WTO、EPA、FTAと貿易の後退があり、自分達の生活はどうなっていくか大変不安です。今日の勉強会で多くの意見をいただき、少しでも不安が解消できればと思っています」と挨拶があり、引き続き農水省職員より生乳乳製品関係、飼料関係について各部門の担当より酪農をめぐる情勢と、平成22年度予算概算決

定の概要の説明をしていただきました。勉強会は金子副部長の仕切りで行われ、酪農に関する経営安定策の中で「平成21年度まで需要3事業との比較では後退したように受け止められる」、補助付リースについては「新規就農者、後継就農、経営継承に伴うもので一般の人は使えるのか」、酪農ヘルパー利用拡大事業では「平成21年度で終わると説明があつたが、今後どの方向に動いていくのか」その他、和牛関係や中山間事業などの質問を自分の思いを述べていました。

1泊2日と厳しい日程でしたが実りある勉強会ができたのではないかと思います。このように機会を通じて地域の担い手としての意見を農政に伝えるため、今後も積極的に取り

組んでいって欲しいと思います。参加した部員の皆様お疲れさまでした。

（参加者）

部長	石森 裕治
副部長	金子 琢哉
副部長	松井 和孝
理事	杉谷 康
理事	兼松 真武
理事	千葉 悟
監事	片野 大介
監事	野矢 貴志
事務局	成田

計9人



中春別営農サポート協議会 第8回 通常総会

去る2月5日に団地センタートレーニング室にて中春別営農サポート協議会(会長・渡邊寛)の第8回通常総会が開催されました。



開会にあたり渡邊会長より挨拶があり、続いて来賓から中春別農業協同組合代表理事組合長・竹田國男氏と中春別ヘルパー利用組合副組合長・高田嘉秋氏から挨拶をいただきました。

議長には美原地区から山崎浩二氏が指名され、議事に入りました。議案第1号「平成21年度事業報告及

## 労働力の確保と地域に根ざした組織づくりを

び収支決算について」、議案第2号「規約の一部改定について」、議案第3号「細部規定の改定について」、議案第4号「平成22年度事業計画(案)及び収支決算について」、議案第5号「賦課金の賦課及び徴収方法について」、議案第6号「役員改選について」以上6議案が提出されました。議場からは「役員定数の変更について」などの意見が出されましたが、議案第1号から議案第6号まで審議され、全て可決承認されました。

また、今回の役員改選に際しまして、女性役員3人を含む8人の役員が選出されました。

馬場新会長からの着任挨拶では「サポート協議会には女性の研修生が多く、女性の意見を組み込み少しでも長く地域に残ってもらいたいと思っています。また、女性の立場に立って研修生との良い関係を築き、研修生の声にも耳を傾けて協議会の運営に役立てていきたいの思っております」と女性役員の活躍に期待する言葉が向けられました。

今後とも会員の皆様のより良い生活を目指し、安定した労働力の確保、地域に根ざした利用のしやすい組織づくりをしていかなければならないと再確認いたしました。

平成22年度中春別営農サポート協議会役員は左記の通りです。

会長	馬場文夫
副会長	南澤 斎
副会長	池田正人
理事	広沼晴美
理事	加藤美由紀
理事	高橋利江
監事	所勝弘
監事	佐藤貴志



# 観て、参加して、楽しんで、みんなの気持ちを明るく、元気に。

豊原へき地保育園(園長 牧野信敏)では保育参観の一環として雪上運動会が、2月8日(月)開催されました。

昨日の風でリンクの状態が心配でしたが、お父さん方が朝早くから準備を行い氷の状態はベストコンディションに整えられていました。最初に年長さんのスケート



われ、徒競走では今年初めて滑る子がほとんどで、なかなか前へ進めず転ぶ子、オリンピック選手のように可憐に滑り早い子。また、2組に分かれビール箱を押してのリレー競技が行われ、思うよう進まなく転びながらも次の走者へ繋いでいきました。

次に年中さん、年少さんよる氷の上での競技が2組目行われ、そりを引っ張る競技では転びそうになりましたが、親子による競技では子供を乗せそりで引っ張る競技が行われ、お父さん、お母さんは氷の上で悪戦苦闘をしていましたが、子供たちは楽しそうに大声で応援していました。

次に、園児全員参加競技が4組目行われ、2組に分かれ親子で手を繋ぎカラーボールを拾い箱の中に入れる競技では、箱の中に入った



ボールを大きな声でひとつ一つ数え、赤組の圧勝で勝った園児は、大喜び。また、親子でつなぎカキ氷を作る競技は、イチゴ、レモン色などのカキ氷をつくり、大事なうに自宅へ持ち帰る子供もいました。宝探しゲームでは、氷の上を何回も転びながら走り、坂をなかなか登れないでいる子供がいましたが目的の宝をゲット。最後にお父さん、お母さんと手を繋ぎみかん拾い、これで全競技無事終了しました。父兄の皆さん氷上で思うようにいかず悪戦苦闘しましたが、子供達との良い思い出ができた1日だったのではないのでしょうか。



## 受講生の修了レポートを紹介します

先月号に引き続きまして平成21年度みらい塾を修了しました受講生の修了レポートを掲載します。

### みらい塾受講を終えて



長沼 徹

この度みらい塾を終えてとても嬉しく思います。まず初めにこのような機会を与えてくれた農協や関係機関にお礼申し上げます。

この1年みらい塾を通して、まずは同年代の農業青年と触れ合うことができても有意義な時間を過ごすことができました。内向的になりがちな農村部で、なかなか交流をもてる面々でもなく、会話も最初は途切れがちでしたが受講も回数を経るにつれて親睦も深まり、たわいもない会話で笑いあえる仲にまでなりました。同じ目的をもつ者同志が集

まれる場があることがとても心地のよいものでした。

同じ仲間どうしの親睦もさることながら、受講内容もたいへん満足のいくものでした。なかなか仕事や、私的な用事で受けられない講義もありましたが、草地や繁殖、経営などこれかえら酪農業を営む上で必要なことをたくさん学びました。その中でも乾乳の飼育管理についてすごく興味をもちました。

ここ1、2年分娩後事故や産後の低カルが多かったので、講義を聞いてる中で自分でも出来る乾乳期の配合の投与やパドックでの牛群分けなど、やってみたいことが増えました。春先にでも普及員の助けも借りてやってみたいと思います。

この1年間でやってみたいことや興味をもったことなどが増えました。みらい塾のおかげで、また一足、経

営者へと近づけたような気がします。

### 今後の経営に役立て実践する



岩瀬 恒介

去年1年間みらい塾を受けて、これからの経営に役立つことが多く学ぶことができ、同じ受講生や農協職員、関係機関の方々とこのみらい塾を通して交流して関係を深めることができとても有意義な研修でした。

子供の頃から農協や関係機関など物心ついたときからあったもので、どんなことをやっているのかは大体わかってはいましたが、具

体的にどのような業務をしているか、経営や乳牛・草地管理などわからない部分がありました。農協職員や普及センターの方々、外部の講師を招いての講座や視察研修など今までわからな

ったことがたくさん学べました。正直まだ知識不足ではありますが、このみらい塾で経験してきたことを経営に役立てていけるようにいろいろ経験して実践していきたいと思っています。

### すぐ実践できる乳房炎対策

中春別振興会 勉強会

毎年開催されており、中春別振興会主催による勉強会が、2月15日に開催されました。

農場でも生かすことのできる乳房炎対策をテーマとして、講師にホクレン酪農技術顧問であります



講師の菊地氏

菊地実氏を招き、多数の出席者のもと勉強会が開催されました。

からの確かなアドバイスが出され、有意義な勉強会になったのではないでしょう。

勉強会では、乳房炎対策として牛舎内の衛生管理に努めることや、牛の体調や気分によっても乳房炎を引き起こす可能性もあることから、なるべく牛にストレスをかけさせな

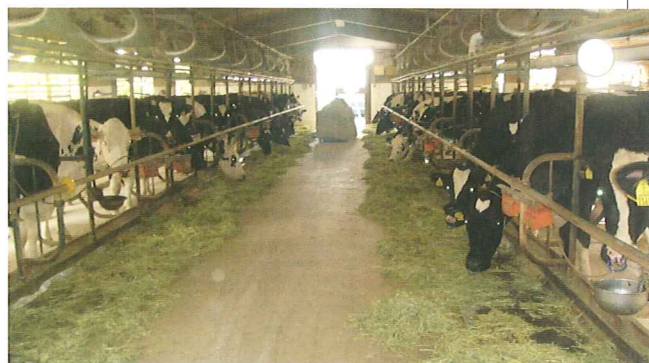


# 北海道と沖縄、環境の違いはあるが、牛にかける熱い情熱は同じ。

農協の引率なしというこ  
とで、不安と期待に心躍ら  
せながらいざ出発。  
釧路空港から羽田空港に  
乗りつぎ那覇空港へ着くと、  
予想していた通り暑く別海  
の夏くらい気温。「さすが  
沖縄」、早速レンタカーを借  
りてホテルへ。

ホテル到着後、まず国際  
通りに行きショッピングと  
夕食の鉄板焼きをお腹いっ  
ぱい食べ、荷物もあつたので  
またホテルに戻り、その後  
タクシーで繁華街へと行き、  
現地の酪農家・新里さんと  
会い親睦を深めました。  
2日目の日程は、現地視

察が昼からでしたので午前  
中は新里さんの案内で沖縄  
ワールドへ行き、玉泉洞とい  
う鍾乳洞と伝統舞踊のエイ  
サーを楽しみ沖縄文化に触  
れてきました。  
昼からは全酪連の横井さ  
んの案内で玉城盛作牧場へ。  
搾乳牛27頭、出荷乳量262、



ちよつとだけファイターズ  
のキャンプ、首里城などな  
どを観光して歩き沖縄料理  
も堪能し、この日も終了。  
そして4日目に暖かい沖  
縄に未練を残しながら飛行  
機に乗り、夜に無事帰宅し  
ました。  
農協のご協力もあり、沖  
縄視察に行かせていただき  
良い経験をさせてもらいま  
した。  
お世話になった方々、本  
当にありがとうございました。



みらい塾の視察研修で2月9日～12日沖縄へ視察  
研修に行ってきましたのでご報告いたします。

459 kgで飼料は全購入し  
ているとのこと。  
この日は気温26℃もあり、  
扇風機全開だったのが印象  
的でした。玉城さんとは同  
年代という事もあり、沖縄  
と北海道の酪農事情などの  
話で盛りあがりました。  
車を走らせ次の視察先、  
高宮城実考(たかみやぎじ  
つこう)牧場へと向かいまし  
た。

搾乳頭数39頭、出荷乳量  
512、199 kgと沖縄で  
トップクラスの個体乳量と  
いうだけあり、施設や牛が  
揃っていたのを覚えています。  
牛舎は北海道では見かけ  
ない酪農団地で7件が隣接

して、コンクリート造り  
のため改築が大変というこ  
とでした。  
高宮城さんは初代同志会  
会長で「夏の草仕事がない  
分もつと飼養管理に力を入  
りたい」、「導入牛に頼らな  
い運営をしたい」と話をし  
ていました。

北と南で事情は違うもの  
の、それぞれにメリット、デ  
メリットがいろいろあるな  
と思ひ視察は終了しました。  
帰りに米軍基地の見える所  
で飛行機を見物してホテル  
へ。

3日目は自主研修でした  
のでメンバーの意見を聞き  
北の方から美ら海水族館、



# 地域、世代が異なる交流で 絆を深め貴重な体験。

1月24日から25日にかけて千葉東京ベイホテルにてJA全国女性大会が開催され、当農協女性部から青野部長が出席しました。



女性部のページ

## 代表者が意見交換

1日目は、「JA女性 気づこう一人ひとり、行動しよう仲間とともに」をスロー

19年度から新3カ年計画「JA女性かわろう かえよう STEP2」食と農を育む未来計画」を樹立し、食と農を機軸として、地産地消環境保全、メンバー加入の促進などの活動に取り組んできましたが、新たな3カ年のビジョンを策定

するにあたり、JA組織の実践課題を共有し、取り組みを促進するための意思集結の場として、また、フレッシュユミズ全国集会和合同の記念大会として第55回記念JA女性大会を開催。



ガンに揚げ「JA男女共同映画優良表彰」のほか、活動体験発表者や「フレッシュユミズの主張」全国コンクール入賞者3人が発表されました。

また、パネルディスカッションでは「大転換期の中でJA女性組織を再生するために見える活動で見える組織へ」をテーマに、女性組織の代表者が意見を交わしました。

1日目が終わり、午後7時半からは第55回のJA女性大会を記念して、世代を越えたJA女性組織メンバーが仲間とのふれあいの場、楽しみの場、さらなる交流・絆を深める場として「東京ダイズーシー交流会」に参加し、全国各地の女性部員とふれあうことができました。

## 活動体験発表とNHKアナウンサー記念講演

2日目は、レインボー体操をJA女性組織の歌「明日輝くために」に合わせて行うほか、1日目に表彰が行われました活動体験発表、「フレッシュユミズの主張」入賞作品発表、NHKアナウンサー・小野文恵氏による「聞いてガッテン！TVの舞台裏」の記念講演が行われ、JA女性の歌「明日 輝くために」を斉唱し閉会しました。

大きな大会ではありませんが、全国各地、世代を越えた女性部員との交流ができ、貴重な体験になりました。





## フレッシュミセス部会・趣味の会



みんなで一緒に作ると楽しいよネ

参加された部員は14人。和室で行うには少し狭いくらいでしたが、みなさんフェルトを針でチクチク刺しながら賑わっていました。今年度は何回か体験した方もいますが、今回はフレミズとの合同開催ということで初めての方もいました。カエルやウシ、ブタ、トラ、ドングリ、何種類かの羊毛フ

# 羊毛フェルトで こんな可愛いのができました

フレッシュミセス部会（部会長・南澤順子）趣味の会（リーダー・浮川優子）では、2月12日 農協団地センター和室にて羊毛フェルトづくりを開催いたしました



こんなに可愛いのができました



お互いにおしゃべりを楽しみながら…

女性部のページ  
に入会してみてください。参加されたみなさんお疲れさまでした。

エルトを組み合わせて、自分の好きな作品を作っている、軽いお食事や部員同士の交流も楽しめました。一生懸命作ったマスコットをお借りして集合写真を撮ってみました。どうですか？今年度最後の活動となりましたが、興味のある方はぜひ趣味の会に入会してみてください。参加されたみなさんお疲れさまでした。

## 木の実部会反省会

木の実部会（部会長・中村及子）では、2月22日（月）農協団地センター和室にて反省会を開催しました。

反省会には部会員は9人。たくさんのごちそうを目の前に今年度の活動を振り返りました。春の視察研修は東藻琴の芝桜を見に行ったり、尾岱沼でのアサリ掘りや、パークゴルフなどを楽しみました。また、1泊研修旅行では別海「道の宿温泉しんまふくろう」に宿泊したりと、たくさん活動をしました。



みなさん本当に楽しそうですね

# 笑いの絶えない 楽しい活動をしましょう

最初から最後まで笑いの絶えない木の実部会ですが、反省会をしているうちに、たくさんあったはずのご馳走がいつの間にかたいて今年度最後の活動を終えまして。来年も活発な木の実部会にしていきたいです。

# 来年度もみんな楽しく活動を

女性部（部長・青野美幸）では、2月17日（水）農協団地センタートレーニング室にて懇談会を開催いたしました。



活動報告をする役員の方々

して、今年度最後の活動終わりました。みなさんの声で女性部活動を充実させたいですね。参加されたみなさんお疲れさまでした。

## 女性部懇談会

懇談会では、女性部員15人が参加しました。平成21年度の収支見直し報告、活動報告をした後は来年度の活動計画を話し合い、毎年行われていきます視察研修や宿泊研修旅行の行き先などを話し合いました。

懇談が終わった後は、昼食とコーヒーや紅茶、お菓子をいただきながら、部員同士話をしたり別のテーブルでは押し花シール作りを



参加された女性部員

## 園芸グループ反省会

### 農協、牧場を花でいっぱい

園芸グループ（リーダー・平林美知子）では、2月10日（水）農協団地センター和室にて反省会を行いました。

参加された、部員は8人。今年度の活動を振り返り、来年の花壇の花植えや、視察研修先などさまざまな部員の意見を聞き話し合いました。いつも農協事務所前の花壇を花でいっぱい飾っています農協の花壇整備には20人ほどの参加があり、青空の下で行う春の寄せ植え講習会などの女性部と合同開催の行事も引き続き行いたいと思っています。女性の力で農協、牧場を花でいっぱい！ 来年も頑張りましょう！

## フレッシュミズ反省会

### いつもフレッシュな活動を

フレッシュミセス部会（部会長・南澤順子）では、2月18日（水）農協団地センター和室にて反省会を行いました。

参加された、部員は9人。今年度の収支見直し、活動報告で今年度を振り返りました。今年度はパン作りや、饅頭作り、地区フレッシュの活動に積極的に参加したりと、たくさんさんの活動をしてきました。16人の小さな部会ですがメンバーが集まったときには、とても賑やかで楽しく活動しています。また来年度もフレッシュな活動を考えたいですね。参加されたみなさんお疲れさまでした。

# 営農対策情報

根室農業改良普及センター

## 牛が選ぶのはこの草だ!



写真1 チモシー、シバムギ、リードカナリーのサイレージとpHの値

### ①草種別サイレージ発酵品質の違い

昨年6月22日、上春別日農場の同一草地において、チモシー、シバムギ、リードカナリーの草種をそれぞれ手

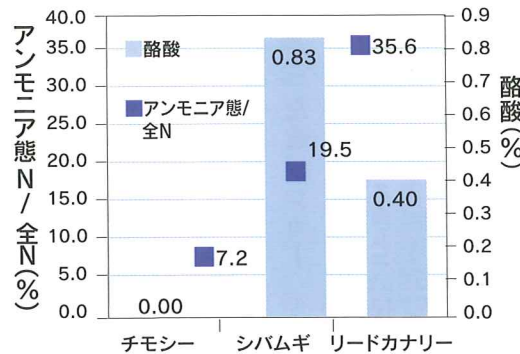


図1 チモシー、シバムギ、リードカナリーのサイレージ発酵品質の違い(ホクレン粗飼料分析値)

### ②草種別サイレージの嗜好性試験

バケツサイロ開封後、日農場の育成牛で草種別サイレージの嗜好性試験を行いました。左側にシバムギ、真ん

中にチモシー、右側にリードカナリーをそれぞれ飼槽に均等に置き、食いつき方を調べてみました(写真2)。始め、真ん中に置いたチモシーに4頭の牛が食いつき、左のシバムギに1頭の牛が口を付け、右のリードカナリーには口をつける牛がい



写真2 嗜好性試験①

その後も、チモシーに多く食いついていましたが、しだいにシバムギも食べ始め、チモシーが無くなる頃にリードカナリーを食べ始めました(写真3)。

始め、真ん中に置いたチモシーに4頭の牛が食いつき、左のシバムギに1頭の牛が口を付け、右のリードカナリーには口をつける牛がい

### ③今後の取り組み

一度肥料散布前に、草地の状態を歩いて観察してみたいかがでしょうか。更新して3年日以降の草地では、草の嗜好性を高めるため積極的な石灰散布が重要です(pH6.0以上のほ場を除く)。また、雑草が増えている草地がありましたら、簡易更新や追播等の技術で改善できる場合もありますので、JAか普及センターまでご相談下さい。



写真2 嗜好性試験②

# 湯けむりの向うに、 自慢の喉と笑い声がひびく、 温泉湯治！



「あなたの奥さんは幸せだね。とっても優しさが出ているし、今日は一緒に来ているの？」と、カラオケ教室講師の成田味恵子さんからの寸評を受けた。甘いバリトンボイスを響かせ、石原裕次郎が歌った名曲「おもえに」で会場を沸かせたのは佐々木茂成さん。

平成21年

度根室地区

JA温泉湯

治は、1月

21日から2

泊3日の行

程で、一行

62人が川湯

の湯けむり

を堪能しま

した。

当JAから

は15人が

参加し、カ

ラオケ大会、

ビンゴ大会、

映画鑑賞と

存分に楽し

んでいます。



初日の宴

会は恒例と

なった歌謡ショ

では、演歌歌手成田味恵子

さんの郷(ふるさと)の民謡、

秋田音頭に、「お父さん、合

いの手が早いよ」駄目だよ、

こんどは遅すぎる」と、駄

目出しされながらビールや

熱燗を交わして大いに盛り

上がり。引き続き行われた

ビンゴ大会では、「リーチ」

「ビンゴ」と連呼して賞品

の争奪戦。ほぼ全員の方々

に賞品が行き届き、皆さん

満足げに会場を後にされま

した。

翌日には映画鑑賞会。最

終話が中標津町で撮影され

より参加された方々の多芸さには本当に

驚きました。当然のことな

がら、カラオケ教室とカラ

オケ大会で歌う曲目は別で

あり、どの曲も最新曲ばかり。

事務局(若い男女)を

連れ立ってダンスを指導と、

そのパワーと若さに圧倒さ

れるばかりでした。

最後に、参加者を代表し

てご挨拶を頂いた当JAの

高橋昌晴さんから、「2泊

3日では湯治ではなく少旅

行です。本当は1週間や10

日過して湯治と言えるので

す。ただ、皆さんが毎年、

健康でこの旅行に参加し、

楽しかったと言う土産話を

持つて帰ることが、経営を守っている家族への最大の奉仕だと思ってください。来年もまた元気で、是非、この企画に参加してください」と結んでいただきました。

短い時間でしたが温泉に浸り、ゆつくり寛いでいたできました。お帰りには、素敵な笑顔と「ありがとう」のお言葉をいただき、参加者全員が無事に帰路に着きました。



# 緊急待機型ヘルパーの利用条件



緊急時の対応のため、常時ヘルパー職員2人を待機させるが、緊急対応の要請がない場合、この職員を条件付により利用できるものとする。

1. 待機型を利用する組合員は、緊急対応が発生し、ヘルパー職員から連絡を受けた場合、無条件に利用の権利を放棄する事。

緊急要請が2人対応であった場合には、待機型を利用する組合員は2戸とも利用の権利を放棄する事。緊急要請が1人対応であった場合は、優先順位により1戸のみ利用の権利放棄となる。その順位は1カ月前利用取りまとめの際、抽選により決定する。

2. 待機型を利用する場合は、ヘルパー職員が緊急出動で派遣されなくなった場合でも必ず対応が出来る状態であること。

## J A 緊急酪農ヘルパー事業

当JAでは組合員の葬儀並びに不時の災害・事故が発生した場合などに対し労働力を補い、営農に支障をきたさないように緊急酪農ヘルパー事業を展開しております。酪農ヘルパーの利用にあたって、限られた人員の中で対応している事から、全て対応出来ない事もあります。組合員のみなさまに事

### 緊急酪農ヘルパーの派遣条件・利用料金

派遣人数	原則として2人
派遣日数	4日以内
出役時間	1日/7時間00分 (夕:3時間30分 朝:3時間30分)
利用料金(1人当り)	1日/17,850円(税込)
時間外料金(1時間当り)	2,625円

\*時間外は30分以上は1時間としております。  
【不明な点がございましたら営農振興課までお問合せ願います】

業の主旨をご理解頂き、円滑な事業展開が図られるようご協力の程宜しくお願いします。

### 緊急酪農ヘルパーの内容

○組合員の葬儀並びに不時の災害・事故が発生した場合など4日以内で派遣する。

### 青年部会と酪農実習生交流会

## お互いにうちとけあって自分をアピール

中春別農協青年部青年部会(千葉悟部会長)では、2月26日居酒屋和ごころにおいて当地域で酪農実習を行っている女性5人と青年部会8人参加で交流会を行いました。

開催に先立ち千葉部会長の挨拶で交流会が始まりましたが、仕事が終わってから出席の方が多く実習生3人でちよつと寂しい始まりとなりました。参加者全員が揃ったところでひとり一人自己紹介が行われ、出身地や趣味また、自己アピールと賑やかな自己紹介となりました。

交流会では男女交互に座り、なかなか打ち解けられない人もいましたが、お酒が入るにつれ、隣の子の名

○結婚式・法事等は酪農ヘルパー利用組合の休日型ヘルパーを利用いたします。

○地域内婚礼(後継者に限る)に係る媒酌人対応。

○組合員の葬儀等の対応範囲(経営者夫婦の二親等親族)

(二親等親族とは 親・子供・兄弟・祖父母・孫)

○出役は夕・朝を1日としております。

前や出身地を確認したり、料理を取ってあげたりと楽しい雰囲気になっていきました。

終了後2次会へと移り、お互いの電話番号・メール交換などを行ったと思います。交流会を通じて、今回で終わりではなくもう一度再会の場を持つなど良い関係を築いていってほしいと思います。





運転のポイントを勉強し、どのような時に事故が多いか確認

# 冬道の運転技術の向上 と安全運転

## 安全運転講習を開催

中春別サポート協議会、ヘルパー利用組合では2月16日(火)団地センタートレーニング室において中標津警察署三河交通係長、中春別駐在高橋所長を講師に招き安全運行講習が行われました。



熱心に聴きいるみなさん

冬道を安全に運転するポイント説明をする三河交通係長

今年に入り例年になく雪が多く、道路状況も常に変化し事故が多くなる時期となり、アクティブハウス入居者及びヘルパー職員を対象に運転技術の向上を高め、安全運転に努めていただくことを目的に行われました。

日の講習会で運転のポイントを勉強し、どのような時に事故が多いのか確認して欲しい」との挨拶がありました。

引き続きDVDによる放映がなされ「認知ミス、判断ミスが事故をよぶ」というタイトルで行われ、認知ミスについては、見えたの

開催に先立ちサポート協議会馬場文夫会長より、「時期も半分が過ぎて冬道にも慣れてきたことと思いますが、これから3月は大雪が降り釧路方面は事故が多くなりますので、皆さん注意してください」との挨拶の後、中標津警察署三河交通係長より、「北海道の冬道運転をするためのポイントを再認識するために、危険な場所を再確認し路面状況にあった運転をしてほしい。また、今



屋外での講習に真剣に取り組む参加者

ステーション跡地において、氷の上でブレーキを踏んでもらう危険状態を経験してもらいましたが、怖がってブレーキを踏めない人もいましたが、滑ると何もできなくなります。



アイスバーンでの実技講習

道路状況に応じて速度を落とすことが重要です。くれぐれも安全運転に心がけましょう。

第11回

理事会のうごき

平成22年1月29日(金)

議案

- 外部出資の増口について
- 資産査定要領及び自己

報告事項

- 組合員の脱退予告について
- 職員の退職について
- 平成21年度12月末財務
- 査定マニュアルの一部改正について
- 金融円滑化にかかる基本的方針等の制定について
- 平成22営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
- 平成22営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
- リース契約について
- 以下、原案通り承認
- 状況について
- 根室管内JA合同年末貯金キャンペーン、JAバンク2009ラストチャンスキャンペーンの実績について
- 平成21年度12月末購買事業実績について
- 平成21年度12月末資材倉庫の倒壊について
- 平成21年度12月末営農生産関連実績について
- 平成21営農年度クミカン精算状況について
- 平成22営農年度階層区分について

できることから始めてみませんか!  
みなさんの協力をお待ちしています

ボランティア

「そよかぜ」会員募集中



そよかぜでは、ボランティア活動を行っていただける方を随時募集しております。

資格などは一切必要ありません。どんな小さなことでも人のお役に立ちたいという気持ちがあればかまいません。

現在、そよかぜでは「出来ることから」を基本に、声かけ運動や誕生日ハガキの送付、ウエスの回収・寄付、研修会などを行っております。

活動趣旨に賛同と協力をいただける方は、お気軽に営農振興課まで電話にてご連絡ください。

ボランティア組織「そよかぜ」

代表 芳賀美智子

■ 申込先: 中春別農協営農振興課・佐瀬まで

TEL 0153-76-2241

FAX 0153-76-2341

1月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

		単価	算出基礎	支乳	前年同期	差	
乳脂肪分		748.894		30.50	29.50	1	
無脂乳固形分		472.606		41.41	40.07	1.34	
補給金		5.0611		5.06	5.31	-0.25	
計画チーズ奨励金							
乳質単価	生菌数	ランク1	2	314,613,339.3kg	3.74	3.74	0.00
		ランク2	0	7,120,615.7kg			
		ランク3	-3	220,794.8kg			
	体細胞数	ランク1	2	279,745,522.7kg			
		ランク2	1	22,802,439.8kg			
	乳質向上特別対策	ランク1	-2	3,229,196.6kg			
ランク2							
合計				80.71	78.62	2.09	

1月分乳代支払単価

項目	単価(円)/kg	
乳脂肪分①	30円50銭	
無脂乳固形分②	41円41銭	
補給金③	5円06銭	
チーズ奨励金④		
脂肪率	全道	4.07%
	農協	4.13%
無脂固形分率	全道	8.76%
	農協	8.76%
成分乳価	全道	76円97銭
①+②+③+④=⑤	農協	77円40銭
乳質乳価⑥	全道	3円74銭
	農協	3円78銭
乳代合計	全道	80円71銭
	農協	81円18銭
⑤+⑥	差異	47銭

エゾノバツコヤナギ(楊、柳)



身近な樹木に触れ、名前を知り  
自然ともっと仲良くなろう

柳の種類は多く、世界で3,300種以上あるといわれ、我が国でも50種以上を数えます。ヤナギ類の高さは15m以上、太さ10cm以上の高木から高さ1~2mの低木まであります。分布は寒帯から熱帯まで及んでいますが、主に北半球に生じています。我が国でも北海道から九州まで分布しています。

ヤナギの語源は「矢の木の意」との説がありますが、ある国学者によると柔荑木(ヤフナギ)からヤナギになった2つの説があります。用途はバツコヤナギ、エゾノバツコヤナギなどは花板、まな板などに利用され、その他のヤナギは種類によっては器具類、下駄箱。また、治山や土木工事の土留工、埋設工、護岸工事などに広く利用されています。ヤナギは古来より美人を形容する言葉によく用いられます。細くてしなやかな腰つきは「柳腰」細くて美しい眉は「柳眉」など繊細で垂れ下がる枝が微風にそよぐところは女性的な美しさがあります。



ニューフロンティアファームの樹木図鑑より転載・抜粋

編集後記

▼3月に入りこの時期いつも「ひよつとすると雪がこのまま降らず、春が来るのでは？」と思った矢先、湿った重いどか雪が5日に降りました。春の足音は少しずつ近づいています。もうひと頑張りです！

▼冬季オリンピックも終わり、日本人選手も活躍、その中でもフィギュアスケートの浅田真央選手に、日本中がテレビの前に釘づけとなつて、応援したのではないのでしょうか。結果は銀メダル。プレッシャーに押しつぶされることなく大健闘でした。4年後の金メダルを楽しみにしましょう。

▼豊原保育園の雪上運動会は、昨年まで豊原小学校、保育園児、地域住民の参加のもと開催していたのですが、小学校が統合となり保育園だけで開催。それでも子供の笑い声、親の歓声が響くと地域が元気になり、心が温かくなつてきますね。

▼冬道の運転技術の向上と安全運転講習を行いました。これらの季節まだまだ予断を許しません。くれぐれも交通ルールを守り、道路状況にあわせた安全運転を心がけてください。